

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東急ステイ博多駅南計画	階数	地上11F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	400人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 竣工	評価の実施日	2017年3月1日
敷地面積	1,395 m ²	作成者	真喜志康功
建築面積	628 m ²	確認日	2017年3月2日
延床面積	5,727 m ²	確認者	坂本雅宏



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・利用者が過しやすい環境を提供する		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・開口部遮音性能への配慮・屋光率の確保に努める・換気量の確保	・情報通信設備への配慮・天井高を確保し、広さ感に配慮・高い耐震性を有している・耐用年数の長い給排水管を採用・非常用発電機を設け、災害に強い計画	・緑地を設けている ・豊富な樹種を選定 ・シンプルな外観とし、景観に配慮した
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・LED照明等の高効率設備機器を採用している・ロビー周りは調光機能を設け、節電に配慮	・節水型水栓及び、節水型便器の採用・再生水の利用・3種類のリサイクル材を活用している・再利用できるユニット部材の採用・防水工事にプライマー採用し、科学物質の使用削減に努めている	・光害の抑制に配慮している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される